

北海道大学が包括連携協定を締結し、持続可能な農村研究の調査を実施

< 北海道 >

市町村・集落の名称	富良野市
協働の相手（企業や大学等）の名称	北海道大学大学院農学研究院及び農学部 北海道大学サステナビリティ学教育研究センター
仲介者・コーディネーターの名称	なし
協働のポイント	<p>平成17年12月に北大と包括連携協定を締結。 協定項目は</p> <ul style="list-style-type: none"> （１）農学関連技術の発展に関すること （２）農村資源の活用に関すること （３）地域の持続的発展に関すること （４）科学技術・文化の振興に関すること （５）人的交流・人材育成に関すること （６）生涯学習に関すること （７）その他必要なこと <p>その後、農村調査・農地プロジェクト、農業計画の審議会への協力を受けている。</p> <p>また、北大に新設されたサステナビリティ学教育研究センターのサステナビリティ・ガバナンス・プロジェクト（SGP）による持続可能な農村研究のモデル地区となり、全市的に調査が進められている。</p> <p>平成20年9月には市有施設を活用して、活動拠点となる北大の「富良野サテライト」を開設。</p> <p>大学生の農家実習を毎年引き受け、実学としての農業の重要性を学んでいる。</p>
協働のきっかけ・経緯	平成17年に地元出身の農学部教授が当時の市長と話し合い、合意。
取組の具体的な内容	<p>サステナビリティ学教育研究センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民向け講演会、研修会 ・分析調査（農業・観光・環境・福祉等） ・富良野市の持続可能性に向けた提言を市長に提出 <p>農学研究院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家向け研修会 ・農地に関するプロジェクト調査協力 ・農業計画策定に係る審議委員 ・農村集落調査の実施
農村地域への効果	<p>現在、各種調査を推進中。</p> <p>今後、北大の調査結果を基に市が実践内容を検討する。</p>

都市部の主体(企業や大学等)への効果	北大にとっては、地域に密着した学生教育,研究が可能となっている。 市役所を介して、現地での情報収集がスムーズとなる。
仲介者等の役割	なし
今後の課題	連携に携わる人材の継続的な養成(市・大学ともに)
関連事業(国・都道府県等)	文部科学省「戦力的大学間連携支援事業」 文部科学省科学技術振興調整費「戦略的研究拠点育成プロジェクト」